

令和4年度 第3四半期（10～12月）における電気関係報告規則に基づく電気関係事故報告について、概要をとりまとめたのでお知らせいたします。今期においては以下の通りです。

感電等死傷 事故	電気火災 事故	電気火災 事故 (一般用)	物損等事故	物損等事故 (一般用)	破損事故	破損事故 (一般用)	供給支障 事故	発電支障 事故	波及事故	合計
0	0	0	0	0	3	2	0	1	3	9

電気保安に携わる皆様におかれましては、これらの事故に伴う損失・被害を十分に認識し、保安意識・技術の向上や、適切な点検・計画的な設備更新を図るとともに、自主保安体制の充実・強化に努め、電気事故の防止に役立てていただきますようお願いいたします。

主要電気工作物の破損事故（第3四半期）

No	発生施設	発生年月	電気 工作物	原因	概要	事故原因	再発防止策
1	太陽電池 発電所	令和4年10月	逆変換装置	調査中	事故連絡を受け、保安担当者が現地確認したところ、逆変換装置の基板が損傷していることを確認した。後日メーカーによる基板取替予定。	調査中	検討中
2	太陽電池 発電所	令和4年11月	逆変換装置	保守不備 (自然劣化)	当該事業場の逆変換装置がエラーにより停止し、現地確認したところインバータ1台が焼損していることを確認した。	製造後約9年が経過しており、部品自体が消耗部品であることから経年による故障と推察される。	設備更新計画を作成し、製造後10年近く経過しているものは、定期的に交換を行う。
3	太陽電池 発電所	令和4年11 月	逆変換装置	調査中	当該発電所の遠隔監視装置により発電状況を確認したところ、通信できない状況となっていたため、保安担当者に連絡の上、現地確認を行った。現地確認の結果、逆変換装置1台がエラーにより停止していることを確認した。メーカー支援により再起動を実施したが、起動せず、逆変換装置故障と判断した。	調査中	検討中

主要電気工作物の破損事故（一般用）（第3四半期）

No	発生施設	発生年月	電気 工作物	原因	概要	事故原因	再発防止策
1	太陽電池 発電設備	令和4年10月	逆変換装置	保守不備 (自然劣化)	メンテナンス時に確認したところ逆変換装置が故障していた。	自然故障と考えられる。	—
2	太陽電池 発電設備	令和4年12月	逆変換装置	保守不備 (自然劣化)	保守点検業者がメンテナンス時に逆変換装置が故障していることを確認した。	自然故障と考えられる。	—

発電支障事故（第3四半期）

No	発生施設	発生年月	電気 工作物	原因	概要	事故原因	再発防止策
1	火力 発電所	令和4年11月	ガス化炉設備	設備不良 (製作不完全)	当該発電所のガス化炉スラグ排出配管において、スラグ排出不良が発生し、回復操作を試みたものの運転状態での解消が見込めないことからプラント非常停止PBによる非常停止を行った。	配管段差にスラグが引っ掛かり堆積したことによる排出不良。	配管段差の解消を行う。

一般送配電会社に波及した事故（第3四半期）

No	発生施設	発生年月	電気 工作物	原因	概要	事故原因	再発防止策
1	需要設備	令和4年10 月	PAS	自然現象 (雷)	一般送配電会社の変電所遮断器がDGR動作にてトリップし、配電線が停電した。調査したところ、当該事業場で事故が発生していることが分かったため、PASを解放して停電を復旧させた。 PASについて外観点検したところ、外装にすずが付着していた。また、LBSを解放して1次側の絶縁抵抗を測定したところ0MΩであったため、PAS内部で事故が発生している可能性が高いことが確認された。	自然現象（雷）	—
2	太陽電池 発電所	令和4年11 月	太陽光発電所	調査中	当該発電所が関係している配電線が配電線事故により停電し、当該発電所が解列したが、再並列を行う際に一般送配電会社に連絡することなく、手動並列したところ約5分後に停電となった。	当該発電所の関係を行った際、一般送配電会社への連絡を怠り、配電系統の遮断器が過電流でトリップし停電した。	検討中
3	需要設備	令和4年12 月	PAS	自然現象 (冰雪)	当該事業場のPAS一次側で短絡が発生したと一般送配電会社から連絡があり、現地確認をしたところ、PAS一次側ブッシングが焦げており、短絡痕を確認した。 その後、PASの取替えを実施して、停電を復旧させた。	自然現象（冰雪）	—